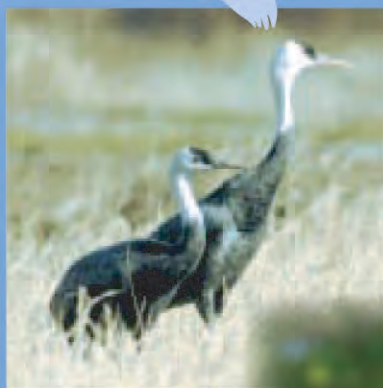


## <参考資料>

- (1) 普及啓発用資料 ..... 参考-1
- (2) 国内外の事例収集 ..... 参考-5
- (3) モデルケース選出のための収集事例 ..... 参考-61

# エコロジカル・ネットワークづくり

ECOLOGICAL NETWORK





# エコロジカル・ネットワークづくり

## エコロジカル・ネットワークとは？



様々な生物が行き来できるように保たれた  
水田と河川と海のつながりや  
都市緑地と里山と奥山のつながりなどのことを  
「エコロジカル・ネットワーク」と言うんだよ！

エコロジカル・ネットワーク(エコネット)とは、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核としてこれらが有機的につながった、生息・生育空間のつながりや適切な配置が確保された生態系ネットワークのことです。

将来に渡って生物多様性を確保するためにはエコロジカル・ネットワークの形成が必要とされていますが、このようなネットワークの形成を目指すことは、野生生物の生息・生育環境を確保するだけでなく、良好な景観や人と自然のふれいあいの場の提供、気候変動の緩和、都市環境・水環境の改善、国土の保全など多機能的な機能が発揮されることが期待されています。



エコロジカル・ネットワークのイメージ



# エコロジカル・ネットワークづくりの多様な取組み

全国各地で、エコロジカル・ネットワークづくりのための各種取組が進められていますが、今回、代表的な21事例(裏面参照)について調べてみました。その土地利用種別をみると、森林・農地・宅地・河川・湿地・海域等様々であり、また、取組範囲も多様で都道府県レベルの広域のものから特定の場所における活動といったものまでみられます。

これらの取組みの実施も、行政、企業やNPO、学校など多様な主体やその連携によって、進められています。

## 取組事例

### 四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)



整備された水田の中央に設置されたツルのデコイ

国土交通省中村河川国道事務所、四万十川自然再生協議会、四万十つるの里づくりの会が地元の農家や学校と連携して、四万十川支流の中筋川沿いにツルの餌場とねぐらを整える取組を行っています。

### 愛知県生態系ネットワーク形成モデル事業



愛知県生態系ネットワーク  
出典)愛知県 あいち自然環境保全戦略  
—あいちの取組—

愛知県が実施している「生態系ネットワーク形成モデル事業」の1つとして、名古屋東部丘陵では、21の大学が協力して、キャンパス内の保全・再生用地において生息・生育空間を整備し、生態系ネットワークづくりに取組んでいます。

## 持続的・広域的なエコロジカル・ネットワークづくりにとって大切なこと

エコロジカル・ネットワークの取組みを充実し、持続的且つ広域的なネットワークづくりを効果的に推進していくためには、以下のことが特に大切です。

### 多様な主体の参加・連携

- 1つの主体だけではなく、行政、NGO、地元住民、農業者、研究者、企業など様々な主体で連携し取組む。
- 様々な主体が活発に意見や情報を交換し、意思決定を行う協議の場を設ける。

### 目標設定と達成状況の把握

- モニタリング結果を反映できるように、抽象的な目標設定ではなく、数値目標などの具体的な目標設定を行う。
- 定期的にモニタリングを行い、変化を確認しながら順応的な管理を行う。

## ■参考としたエコロジカル・ネットワークづくりに関する全国の実例（21事例）

No.	事例名 (所在地)	取組の目的	土地利用				参考URL
			森林	農地	宅地	水面・河川・湿地	
1	猿投里山会による里山保全活動 (愛知県豊田市)	ギフチョウの舞う里山づくりを行う。	●	●			<a href="http://yahagigawa.jp/3_1_v_kenkyuu/no_12/13_07.pdf">http://yahagigawa.jp/3_1_v_kenkyuu/no_12/13_07.pdf</a>
2	安養寺地区緑を守る会による農地・水・環境保全向上対策活動 (福井県越前市)	地域ぐるみで、農業用施設の管理、環境保全・自然保護活動を発展させる。		●			<a href="http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/pdf/4180105.pdf">http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/pdf/4180105.pdf</a>
3	このす里山くらぶによる里山保全活動 (福岡県福岡市)	森と人が共に生きるこれからの里山文化を創造する。			●		<a href="http://www.kounosusatovama.org/">http://www.kounosusatovama.org/</a>
4	潮来ジャンボプロジェクト実行委員会による水辺再生活動 (茨城県潮来市)	かつての水郷の水辺を再生する。			●		<a href="http://www.kasumigaura.net/asaza/itako/keika/index.html">http://www.kasumigaura.net/asaza/itako/keika/index.html</a>
5	浦島漁業協同組合等による干潟再生活動 (広島県尾道市)	二つの要請を満たす手法として、土砂処分を活用した干潟整備を行う。			●		<a href="http://www.kasumigaura.net/asaza/itako/index.html">http://www.kasumigaura.net/asaza/itako/index.html</a>
6	鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊(土湯の森づくり)自然再生実施協議会による森林再生活動 (山形県ほか)	生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを図り、生物の多様性を効果的に確保する。	●				<a href="http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/katudo/kairou.html">http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/katudo/kairou.html</a>
7	滋賀県による水田環境再生活動 (滋賀県大津市)	田んぼや排水路を魚が行き来できるようにし、生きものと人が共生できる農業・農村の創造を目指す。		●			<a href="http://www.pref.shiga.jp/g/noson/fish-cradle/index.html">http://www.pref.shiga.jp/g/noson/fish-cradle/index.html</a>
8	四万十川自然再生協議会による自然再生活動 (高知県四万十市)	四万十川の自然を守るため、流域住民が主体となり、意見・提案・活動を行う。			●		<a href="http://shimanto-saisei.com/">http://shimanto-saisei.com/</a>
9	豊岡市による湿地保全再生活動 (兵庫県豊岡市)	「ジル田」と呼ばれた湿地を、コウノトリの生息拠点として整備し、公の施設として管理していく。		●	●		<a href="http://www.city.tooka.lg.jp/www/content/1238741885651/index.html">http://www.city.tooka.lg.jp/www/content/1238741885651/index.html</a>
10	山崎・谷戸の会による自然保全活動 (神奈川県鎌倉市)	昔ながらの文化や景観を受け継ぎ、豊かな生態系を維持していく。	●	●	●		<a href="http://www.kcn-net.org/senior/tsushin/tnakama/v04/0412hiro/index.html">http://www.kcn-net.org/senior/tsushin/tnakama/v04/0412hiro/index.html</a>
11	武蔵野市による河川環境創出活動 (東京都武蔵野市)	生活を豊かにし、様々な生物が生息できるようなきれいな川を作る。			●		<a href="http://www.env.go.jp/water/junkan/case2/pdf/39.pdf">http://www.env.go.jp/water/junkan/case2/pdf/39.pdf</a>
12	金城学院大学による自然再生活動 (愛知県名古屋市中)	キャンパス内の自然林などを管理し、花が咲く明るい快適な環境にしていく。	●				<a href="http://www.kinjo-u.ac.jp/m120-60/modules/tinvd/index.php?id=11">http://www.kinjo-u.ac.jp/m120-60/modules/tinvd/index.php?id=11</a>
13	(株)アレフによる水田環境創出活動 (北海道恵庭市)	冬の水田に水を張ることにより、生態的価値を高め生物の生息場所を創出する。		●			<a href="http://www.aleph-inc.co.jp/">http://www.aleph-inc.co.jp/</a>
14	ささ水辺の生きものを守る会による環境保全活動 (兵庫県たつの市)	遊休農地を利用したピオトープづくりなどにより地域環境を子どもたちに残す。		●			<a href="http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/pdf/6280608.pdf">http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/pdf/6280608.pdf</a>
15	仲崩ふゆみずたんぼ生産組合による水田環境保全活動 (宮城県大崎市)	渡り鳥との共生を図りながら、付加価値の高い米の生産・農業経営の向上を図る。		●			<a href="http://www.pref.miyagi.jp/tisin/hustle/hustle_19/feature/feature002.html">http://www.pref.miyagi.jp/tisin/hustle/hustle_19/feature/feature002.html</a>
16	愛知県による生態系ネットワーク形成活動 (愛知県名古屋市中)	荒廃しつつある生態系の保全・再生を図りながら持続可能な利用を進める社会を実現する。	●		●		<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000006216.html">http://www.pref.aichi.jp/0000006216.html</a>
17	ウェットランド団等による環境保全活動 (広島県三次市)	ダム貯水池沿岸部の水辺生態系の創出、環境教育的利用を推進する。			●		<a href="http://www.cgr.mlit.go.jp/mivoshi/haizuka/index.html">http://www.cgr.mlit.go.jp/mivoshi/haizuka/index.html</a>
18	つるがしま里山サポートクラブによる里山保全活動 (埼玉県鶴ヶ島市)	里山の保全・回復活動を通して、健康かつ安心して生活できるまちづくりを推進していく。	●				<a href="http://www.geocities.jp/satovamasaport/">http://www.geocities.jp/satovamasaport/</a>
19	逆面エコ・アグリのにによる農地・水・環境保全向上対策活動 (栃木県宇都宮市)	地域の豊かな自然・生態系を保全し、集落機能の低下を回復させる。		●			<a href="http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/06&amp;content=2009_07_03_1.xml">http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/06&amp;content=2009_07_03_1.xml</a>
20	かれがわふる里活動隊等による農地・水・環境保全向上対策活動 (三重県桑名市)	希少生物の保護を目的に、地域の適正管理・状況把握、また環境学習の場として生態系保全活動を行う。		●			<a href="http://www.miedoren.or.jp/">http://www.miedoren.or.jp/</a>
21	水の公園福島潟による自然再生活動 (新潟県新潟市)	豊かな福島潟の自然を守り後世に伝える。			●		<a href="http://www.pavc.ne.jp/~hishikui/">http://www.pavc.ne.jp/~hishikui/</a>

国土交通省国土計画局総合計画課

## (2) 国内外の事例収集

愛知県名古屋市で2010年10月に開催されたCOP10（第10回生物多様性条約締約国会議）に合わせて提示された資料など、国内外の各種団体によるエコロジカル・ネットワークの評価に関する有益な事例情報を収集した。収集した情報は、下表のとおりであり、概要をとりまとめた。

表 2-1 COP10 関連で収集したエコロジカル・ネットワークに関する評価報告書及び情報資料一覧

資料番号	資料名	引用頁	項目
1	里山・里海の生態系と人間の福利：日本の社会生態学的生産ランドスケープ概要版ー日本の里山・里海評価（国際連合大学、2010年）	pp. 9-11, 19-20 , p. 28, 33 その他図表参照	①日本の里山・里海評価 （JSSA : Japan Satoyama Satoumi Assessment）
2	国際シンポジウムのプレゼンテーション資料日本の里山・里海評価	全体概要プレゼン資料、各5クラスターの資料	
3	COP10におけるTEEB関連イベント情報	全頁	②生態系と生物多様性の経済学 （TEEB : The Economics of Ecosystems and Biodiversity）
4	TEEB最終報告書（国連環境計画ほか、2010年）	p. 8, 20 その他適宜参照	
5	地方政府政策および地域政策立案者のためのTEEB（国連環境計画ほか、2010年）	p. 44	
6	生物多様性総合評価報告書（環境省生物多様性総合評価検討委員会、2010年）	pp. 6-7, p. 9, 190, 194 その他図表参照	③生物多様性総合評価 （JBO : Japan Biodiversity Outlook）
7	農地・水・環境の保全向上のためにー農地・水・環境保全対策の取り組み方ー（農林水産省農村振興局・生産局、平成19年）	p. 1-4, 34	④エコロジカル・ネットワーク形成に関連する国内支援制度
8	あいち森と緑づくり事業～山から街まで緑豊かな愛知をめざして～（愛知県農林水産部森と緑づくり推進室、平成21年）	全頁	
9	逢妻男川「水辺の緑の回廊」整備（愛知県豊田加茂建設事務所、2010年）	全頁	⑤エコロジカル・ネットワーク形成に関連する国内事例
10	大阪府・パナソニックのエコロジカルネットワークづくり（パナソニック株式会社・大阪府みどり推進課、2010年）	全頁	

表 2-2 エコロジカル・ネットワークの評価に関する有益な事例情報として収集した

### 3 評価の概要

①日本の里山・里海評価 (JSSA : Japan *Satoyama Satoumi* Assessment)

JSSA は、国や地方自治体、学术界、非政府組織 (NGO) などの主要なユーザー (評価結果の利用者) を代表する評議会により、各地域の里山・里海における生態系と人間の福利のつながりに焦点をあてて、歴史的な文脈、現状と傾向、変化の要因、対応を評価する取組である。JSSA の取組は 2007 年から開始し、2001 年から 2005 年に世界規模で実施された生態系に関する総合評価、ミレニアム生態系評価 (MA) の概念的枠組みを適用している。

②生態系と生物多様性の経済学 (TEEB: The Economics of Ecosystems and Biodiversity)

TEEB は、ドイツ政府と欧州委員会のイニシアティブによる国連環境計画 UNEP 主導で 2007 年より実施されている、生態系及び生物多様性の価値を経済的に評価するための研究である。今までなかなか価値が認められてこなかった、森林の浸水防止や水浄化機能、精神的・審美的価値などの無形の価値を、食物や木材などの有形の価値と同じように可視化するための取組である。

③生物多様性総合評価 (JB0 : Japan Biodiversity Outlook)

JB0 は、環境省の生物多様性総合評価指標検討委員会が 2008 年に開始した取組で、MA 及び TEEB の取組を参考としながら、わが国の自然条件や社会経済的な状況に応じた手法で国内の生物多様性を総合的に評価することを目的としている。CBD で採択された決議の中で例示されている指標も参考にしながら、わが国の生物多様性の変化の状況や各種施策の効果などを把握するためのさらに分かりやすい指標の開発のために検討が進められた。



(3) モデルケース選出のための収集事例

出典	通番	事例	概要
国土交通省関連	1	魚のゆりかご水田プロジェクト	平成13年より、琵琶湖周辺の水田において、排水路掘り上げ式水田魚道を設置し、フナ、コイ、ナマズなどの琵琶湖在来魚類の産卵の場として水田を再生している。平成20年現在、県内18地域の約81haにて展開。
	2	四万十川自然再生事業	四万十川水系において、平成14年よりツル、アユ、ヤゴ、アカメに着目し、瀬と淵の再生、湿地の再生、フンドや池の整備、樹木・植物の管理・保全などの自然再生事業を平成14年から実施。動植物の生息・生育環境の再生、樹木の伐採や湿地の再生により白い砂州と瀬の拡大やナベヅルの越冬が確認されている。
③大都市圏における緑地保全等実態調査(国土交通省国土計画局、H20)	3	エコタウンほこたの取組	茨城県。1.北浦の水質浄化 2.湖岸植生帯の復元 3.里山の整備 4.谷津田の再生 5.ビオトープづくり 6.環境教育 7.自然体験教室 8.竹林整備と竹炭づくり 9.BDF事業
	4	環境を創る日立市民会議の取組	茨城県。1.自然環境の保全(理解を深める観察会、調査事業、環境整備事業)2.企業・市民向け研修会3.パネル展や見学会などの啓発事業。
	5	久慈川水系環境保全協議会の取組	茨城県。1.総会の開催 2.会員研修会の開催 3.水質調査及び環境保全に関する活動の実施 4.久慈川を軸とした交流ネットワークづくり 5.「久慈川のほとり」の発刊 6.水質情報の提供 7.その他各種関連イベントへの積極的参加
	6	穴塚の自然と歴史の会の取組	茨城県。観察会年間80回、調査活動-生態系・歴史文化、保全活動-林・ため池・小川・谷津田・畑等の保全活動、環境教育-幼児から大学生、広報活動-会報・お知らせ14000枚/月、学習会・イベント他。
	7	菅生沼に親しむ会の取組	茨城県。1.菅生沼での月例観察会(第1日曜日) 2.広く一般市民を対象としての観察会「白鳥を見る会」を冬に実施。会員総出で粕汁などをサービスして好評 3.観察路周辺の整備と樹木や野草の名札づけ 4.ホテルの自然繁殖活動等
	8	土浦植物友の会の取組	茨城県。1.植物観察会の実施(年5回) 2.2地点の植生調査・保全活動(各年9回) 3.野生植物スライド[会員作製]の鑑賞(年5回) 4.機関紙の発行(年6回) 5.その他
	9	葦津の自然を愛する会の取組	群馬県。高山植物の保護パトロールを始め、歩道の整備事業への参加、中学生のコマサ保護活動の参加、森の調査、観光客の利用する歩道の調査、会員の山や森へのハイキングなど。
	10	月夜野ホテルを守る会の取組	群馬県。ホテルの保護及び自然環境保護思想の普及、啓発、ホテル保護地及び周辺小河川の保全活動、カワニナの養殖活動、町内小・中学校、児童生徒を対象にホテル保護ポスターコンクール、視察研修等。
	11	綾瀬川を愛する会の取組	埼玉県。1.毎月第3土曜日に綾瀬川堤防のゴミ拾い 2.毎月第2水曜日に綾瀬川の水質調査 3.河畔林の育成(再生)活動 4.自然観察 5.絶滅危惧種の保護、育成 6.他の環境団体や行政との協働による環境活動 7.リサイクルバザーの実施
	12	荒川の自然を守る会の取組	埼玉県。1.荒川周辺その他の自然観察会を月1・2回実施 2.三ツ又沼ビオトープの自然保全作業を月1・2回実施 3.他団体と協力し地域の自然を守る活動 4.都市林(雑木林)も荒川の源流1つ、都市林の保全・再生活動
	13	エンハンスネイチャー荒川・江川の取組	埼玉県。1.トラスト地・三ツ又沼ビオトープ・太郎右衛門自然再生地において管理作業を市民参加で行う 2.特にトラスト地では絶滅危惧植物群落管理の為の調査・研究や環境教育、行政への湿地再生事業化推進を働きかけている
	14	大曾根の湿地ビオトープを守る会の取組	埼玉県。綾瀬川と大曾根の湿地において、河川の清掃、植生の管理、水質検査、自然観察及び調査勉強を行ない、河川浄化、植生の維持管理、生態系の保全再生を図る。市民、児童の環境学習における協力、普及。
	15	環境保全せせらぎの会の取組	埼玉県。1.地区内の自然環境の調査・観察 2.河川を主とした生物(オオイトサシヨウウオ、ホテル、メダカ等)の保護増殖 3.住民への環境教育、啓発活動
	16	黒浜沼周辺の自然を大切にしたい会の取組	埼玉県。会活動の大きな柱は、沼とその周辺の動植物の生育環境の整備と保全です。併せて、優れた自然環境を生かした環境学習の場として活用、小中学生らを主にした学習を積極的に支援していくことです。
	17	高麗川ホテルの会の取組	埼玉県。この地の原戸籍をもつ、源氏ホテルを守る、地域の協力もあり農業用水路の監視、清掃等、生息地の保全、地元小学校で会員による授業、PR看板の制作、現地取付。餌となるカワニナの確保、他との情報交換会。
	18	すぎとエコグリーンの取組	埼玉県。1.アースデーの開催 2.森の保全 3.夏休み自由研究相談室 4.川の里親 5.総合学習講師 6.土作りと有機農産物の栽培 7.野生動物植物の保護観察 8.環境調査
	19	つるがしま里山サポートクラブの取組	埼玉県。里山の保全・管理活動は、市内に7カ所(12.8ha)ある市民の森で、月2回を原則として実施しています。里山の大切さを体験するため、市民を対象とした、イベントを年間4~5回開催しています。
	20	鶴ヶ島の自然を守る会の取組	埼玉県。1.毎年4~5回の観察会を開催 2.毎年1回川掃除を実施 3.年3~4回会報「雑木林と水辺」を発行 4.毎年1回水質調査を実施 5.つるがしま環境ネットワーク、NPO法人荒川流域ネットワークと協力・連携
	21	天覧山・多峯主山の自然を守る会の取組	埼玉県。1.自然観察会 2.里山再生作業 3.講演会 4.定例会議 5.自然環境調査 6.ナショナルトラスト 7.会報づくり
	22	トロロのふるさと財団の取組	埼玉県。狭山丘陵(通称トロロの森)を後世に残していくために、ナショナルトラスト運動を中心に活動しています。また、その他にも環境教育、自然や文化財の調査研究、里山管理などをおこなっています。
	23	日本野鳥の会埼玉県支部の取組	埼玉県。野鳥を中心とした自然保護活動。
	24	小田川ホテル愛護会の取組	山梨県。1.ホテルの増殖(養殖) 2.ホテル川の管理作業 3.水質検査 4.ホテルまつりの開催
	25	日本高山植物保護協会の取組	山梨県。情報誌JAFFAの発行。ホームページの開設。高山植物観察山行。高山植物フォトコンテスト。不法採取、盗掘防止のための監視。高山植物群落の活性及び復元事業。保護増殖に関する調査及び研究。



出典	通番	事例	概要
国土交通省関連	26	愛・ふるさとの取組	山梨県。中津川河原生態系再生の取組として、中津川カワラノギクの復元にH19年10月に成功した。今後継続活動をする。ギフチョウ等を飼育しているため里山に放蝶して行くための準備に取りかかる。
	27	海をつくる会の取組	神奈川県。海浜、海底、湖底清掃、海・干潟の生きもの観察、勉強会等を開催し、過去東京湾に育成していた海草・アマモを再度甦らそうと移植活動を行っています。
	28	開成町ほたるの里づくり研究会の取組	神奈川県。現在、ホタルの保護活動を中心にして、ホタルの観察会やホタルの養殖を実施している。また、行政に対してホタルの保護に関する提言もしている。
	29	神奈川ウォーター・ネットワークの取組	神奈川県。河川や止水の生態的・遺伝的攪乱の原因となる外来種や移入種の駆除を行い、在来種の保護を目指している。また、自然観察会への講師派遣やシンポジウムの開催など啓蒙活動も積極的にしている。
	30	鎌倉中央公園を育てる市民の会の取組	神奈川県。田んぼ、畑、雑木林管理、農芸、自然遊び、生態系保全、植物育成の7つの班を設け、鎌倉中央公園内の谷戸で昔ながらの農林作業や保全作業を行う。また小中学校や諸団体の体験活動を受け入れ谷戸の重要性を促す。
	31	自然への奉仕者・樹木医協力会の取組	神奈川県。1.自然環境教育活動 2.自然環境保全活動 3.調査研究及び設計事業 4.樹木診断治療用具等の販売支援事業
	32	丹沢自然保護協会の取組	神奈川県。この10年、人と野生動物の共存を目指し、緑の回廊(コリドー)作りを提唱し活動している。植樹活動、モニタリング(植樹した苗の育成調査)、森林整備体験活動(間伐、抜打)等を参加者を公募し実施しています。
	33	津久井の自然を守る会の取組	神奈川県。武山中山の不法投棄一部を今年は、地域住民と協力して撤去する予定。ホタル自生地保護活動としては、草刈・ホタル観察会を実施。近隣の小中学校と連携して、地域の環境を考えみどりを守る活動をすすめていきます。
	34	日本チョウ類保全協会の取組	神奈川県。1.チョウの調査・研究 2.チョウのすみ環境の保全活動 3.チョウの保全に関する普及活動(シンポジウム、展示会等の開催) 4.ニュースレター・ガイドブック等の作成
	35	ゆいの取組	神奈川県。海浜野生植物の観察調査、絶滅危惧種・減少種・希少種の保護活動を行っています。生物多様性の維持のためには群落として保全する地域の確保が大切であると考え、啓蒙・提言を行っています。
	36	湯河原の自然を守る会の取組	神奈川県。湯河原町における自然環境の保全を目的としており、特に湯河原奥地(水源地域)の観光開発から守ることを主要活動としている。
	37	いたばし自然観察会の取組	東京都。ニリンソウの保護活動によって、都立赤塚公園は、都内最大のニリンソウ自生地として知られるようになった。希少植物とされているタマノカンアオイの最東端の自生地の保護活動を行っている。
	38	いたばし野鳥クラブの取組	東京都。1.会報発行 2.行事開催 3.環境学習協力 3.自然環境の保全・美化 4.行政への提言・提案
	39	小笠原野生生物研究会の取組	東京都。1.小笠原諸島の生物相の調査を行う 2.絶滅危惧種の保全、保護及び増殖を行う 3.生態系保全の諸活動を行う
	40	川口の自然を守る会の取組	東京都。トウキョウサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、各種両生類、昆虫(特にオオムラサキ)、鳥類(特にオオタカ)の調査や保護活動を行っている
	41	倉沢里山を愛する会の取組	東京都。1.下草刈り、落ち葉掃き等の緑地の維持・管理 2.動植物の保護育成・生態系保全 3.市民農園の運営・管理 4.地域の市民への広報と環境意識の啓蒙 5.活動参加者の交流・交歓のためのイベントの実施等
	42	樹木・環境ネットワーク協会の取組	東京都。1.グリーンセイバー検定:植物や生態系の幅広い知識の習得 2.フィールド活動:里山や奥山・都市の緑地の保全 3.青少年育成事業:親子で自然体験する環境教育 4.コミュニケーション事業:森の「聞き書き甲子園」
	43	生態工房の取組	東京都。植生及び外来種の管理、自然環境の保全・復元、環境学習のプログラム及び展示・教材の製作等に関する調査・研究・企画・開発と、それに関わる人材の育成。
	44	全国漁場環境保全対策協議会の取組	東京都。1.森・川・海連携の環境保全推進:生態系保全対策 2.沿岸域開発・エネルギー開発対策 3.漁業系廃棄物処理推進対策 4.化学物質対策 5.油濁等漁業被害救済対策 6.研修会の開催、各種会議等への参画
	45	全国ブラックバス防除市民ネットワークの取組	東京都。ブラックバス等の防除及び生態系・生物多様性の保全・回復に関する調査研究、技術開発、普及啓蒙を実施。毎年5月下旬頃に「全国一斉ブラックバス防除ウィーク」を実施。
	46	多摩川の自然を守る会の取組	東京都。1.定例自然観察会 2.河川植物の保護と調査 3.堤防のり面の植物調査 4.河川環境一般の調査 5.河川管理者(国)への提言・相談相手
	47	トウキョウサンショウウオを守る由木の会の取組	東京都。1.トウキョウサンショウウオの生息環境の保全 2.生息状況の継続調査研究 3.生息環境保全対策の調査研究 4.環境教育への活用
	48	西多摩自然フォーラムの取組	東京都。休耕田の復元、雑木林の維持管理。それに伴うキノコ栽培、炭焼き。植物調査。オオムラサキの越冬幼虫調査。トウキョウサンショウウオの卵のう調査。オオタカ観測。水生昆虫(トンボ)・ホトケドジョウ等の調査。
	49	日本自然保護協会の取組	東京都。1.自然と自然保護の調査研究、情報の収集・提供、施策の提言 2.野生生物の生息・生育環境の保護・復元 3.環境教育のための人材育成 4.出版・イベント開催 5.IUCN(国際自然保護連合)日本委員会事務局担当
	50	花咲き村の取組	東京都日の出町が活動拠点。現在では山林の保全、谷津田・棚田の保全など活動は多岐にわたる。地域活性化のために、放牧林や耕作放棄地などの活用に取り組んでいる。
	51	行徳野鳥観察舎友の会の取組	千葉県。定例観察会をはじめとする普及啓蒙活動、野生生物に関する調査研究、傷病野鳥の保護および救護、千葉県行徳野鳥観察舎および行徳鳥獣保護区管理・運営(委託)、各種会議等での発言・提言活動、会報の発行等。
	52	手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会の取組	千葉県。マシジミの生息調査および在来マシジミによる水質浄化の試み、絶滅危惧種のガシャモクをはじめとする沈水植物の培養と保全および手賀沼での植栽実験。

出典	通番	事例	概要
国土交通省関連  ③大都市圏における緑地保全等 実態調査(国土交通省国土計画 局、H20)	53	螢の里を守ろう会の取組	千葉県。1.螢の飼育・生態観察 2.螢生息地の環境保全 3.螢の普及とPR
	54	グループ2000(環境に学ぶ)の取組	千葉県。1.ピオトープ製作、維持管理活動及びその活用(環境学習) 2.ピオトープを活用した地域交流活動 3.環境学習プログラムの作成及び実践活動 4.里山保全活動 5.自然体験活動を通して青少年の健全育成活動
	55	越智メダカの会の取組	千葉県。1.地域の自然文化を理解観察会・学習会 2.地域の自然保護 3.メダカ保護 4.米づくり 5.小学校ピオトープによる環境教育
	56	野田自然保護連合会の取組	千葉県。はきだし沼の保全活動
	57	丸山サンクチュアリの取組	千葉県。四季花が咲き、小さな生き物のいる里山づくりをめざして毎月2回2ヶ所の里山で保全活動を行っています。この里山に地元の小学生が森のたんけんに来て、グループごとにテーマを決め自然を学んでいます。月2回の自然観察会。
	58	実初郷の会の取組	千葉県。1.米作り(田植え、草取り、稲刈り) 2.公園清掃(毎月1回) 3.自然体験教室(小学生対象) 4.ホタルの生息地づくり 5.学習会 6.収穫祭 7.伝承行事
	59	佐倉自然同好会の取組	千葉県。四季折々の自然観察会や自然保護、緑地の保全、雑木林の復活、ホタルの里づくり、行政への働きかけ、自然に関わる各種の調査・行事を進めています。
	60	八千代オikosの取組	千葉県。1.地域環境の保全を図る自然環境調査・評価事業 2.自然環境の意識開発、教育支援事業 3.水辺の動植物調査及び生息環境の保全・改善事業 4.里山・河川の水質浄化及び美化等の環境保全事業 5.まちづくりに関する事業
	61	千駄堀を守る会の取組	千葉県。1.千駄堀地区の自然観察活動(月1回実施) 2.千駄堀地区の生物相調査活動 3.千駄堀地区の生態系を保護するための提言活動
	62	我孫子野鳥を守る会の取組	千葉県。1.探鳥会の開催 2.野鳥等の調査、研究 3.野鳥を中心とする自然保護活動
	63	野鳥千葉の取組	千葉県。野鳥の、1.個体を保護 2.個体群を保護 3.絶滅に瀕した特定の種の保存 4.生息環境全体を保全 5.生息環境を修復 6.生息環境を再生させる 等を目的とした種々の活動を行っている
	64	千葉県野鳥の会の取組	千葉県。1.年間100回前後の自然観察会・探鳥会 2.年3回の水鳥一斉調査や県委託調査等の調査活動 3.講演会、勉強会等の学習活動 4.環境保全団体との交流 5.環境保全のため行政との協力や提言 6.その他自然保護活動
	65	オオタカ保護基金の取組	栃木県。1.ワシタカ類や自然環境に関する調査研究 2.ワシタカ類や自然環境に関する保護 3.ワシタカ類や自然環境に関する普及教育 4.ワシタカ類や自然環境に関する政策提言
	66	名草源氏ホタル保存会の取組	栃木県。名草地区内に生息する源氏ホタルの保護と養殖をし、河川の浄化と環境を整備し観光にも力を入れ、もって名草地区の繁栄する事を目的とする。1.源氏ホタルの保護と養殖 2.河川の清掃 3.ホタル鑑賞への来客と誘致
	67	メダカ里親の会の取組	栃木県。メダカ生息地の調査と系統保存の普及を図ると共に、農村水辺生態系保全活動の支援や指導や農村の水田・水路・里山等を活用した「田んぼの学校」と名打った農村環境体験学習をH11年度より継続して開校している。
	68	真岡の自然を守る会の取組	栃木県。1.自然保護地域の造成運動 2.各種調査研究活動 3.河川の自然保護活動 4.鳥獣、魚介、昆虫の保護活動 5.野草観察と探鳥会 6.広報活動 7.講演会 8.その他目的達成に必要な事業
	69	日本野鳥の会奈良支部の取組	奈良県。“野鳥のすみやすい環境は人もすみやすい”をモットーに主に県内での野鳥観察、保護のための啓蒙活動を行っている。近年、野鳥のすみやすい環境づくりの一環として、里山の竹林伐採活動も行なっている。
	70	生駒いいもり里山サポーターズの取組	大阪府。「大阪信愛女学院観察の森」(大東市北条)周辺において毎月第1日曜日に大東市の飯盛山山麓で里山保全活動を行っています。観察路の整備、下草刈り、間伐、枝打ちなどを行っています。
	71	大阪みどりのトラスト協会の取組	大阪府。大阪府内のトラスト地、森林の整備やブナ林、湿地などの貴重な自然の保全活動をボランティアの方と一緒にしています。また、自然保護団体への支援、緑化の普及啓蒙のため自然観察会や木エクラフト教室なども行っています。
	72	南港ウェットランドグループの取組	大阪府。1.環境の監視…環境や生きもの調査 2.環境保全作業…清掃、アオサ取りなど 3.普及・啓蒙…探鳥会や自然観察会の開催、観察指導、会報の発行、環境教育など 4.シギ・チドリネットワーク登録地としての活動
	73	羽曳が丘E&Lの取組	大阪府。里山保全活動とピオトープに関する野外活動(ピオトープの管理)、その他、地域のニーズである高齢者サロン、お惣菜の宅配・集会所の管理運営などが活動の内容。
	74	北神戸田園ボランティアネットの取組	兵庫県。北神戸田園スポーツ公園において、「里山景観維持プロジェクト」として、公園内の田畑の維持、森林・竹林整備、ピオトープ再成や「環境教育」として、農作業体験、トライアルウィーク受け入れ等の他に、交流イベントの企画立案やコミュニティを行っている
	75	日本野鳥の会京都支部の取組	京都府。探鳥会その他の催し物の実施、日本野鳥の会京都支部報の発行、野鳥等の調査研究、野鳥を中心とした自然保護活動。その他、支部として必要な諸活動。
	76	ピオトープネットワーク京都の取組	京都府。1.里山再生・保全活動を通じて月1回里山でイベントを行っています 2.学校ピオトープづくりのお手伝いとして、環境学習プログラムづくりや活用についての提案 3.都市の自然再生として街中ピオトープづくりなど
	77	内之浦湾を良くする会の取組	和歌山県。内之浦湾にアマモを植付、その繁殖をうながし魚の寝床産卵場所を作り、環境保全活動を市県と共同作業で行っております。又港内に官民共同で水洗トイレを完成させました。これは和歌山県観光事業の面からも意義があります。
	78	喜志川ゲンジボタルを育てる会の取組	和歌山県。1.ホタルの性態の研究・人工飼育及自然学習 2.自然の保護、水質保全
	79	玉川峡(紀伊丹生川)を守る会の取組	和歌山県。1.玉川峡の保全のために荒れた里山の保全作業、動植物調査、水生昆虫調査、古道調査、水質調査をすすめている。2.紀の川の環境保全のために、特に上流の大滝ダムの地すべり問題に注目

出典	通番	事例	概要
国土交通省関連	80	愛知ホタルの会の取組	愛知県。県内のホタル生息地で幼虫の飼育・放流、河川の浄化、川岸の美化活動、里山・山林の保全管理、県下各地の保護活動の援助、県下各地で研究会を開催、等の実践活動を進めている。
	81	朝倉川水フォーラムの取組	愛知県豊橋市内、朝倉川周辺での活動。 1.ピオトづくり 2.川縁への植樹 3.里山づくり 4.河川美化 5.水質浄化 6.ホタル育成ネットワーク 7.講演会・講習会PR啓発 8.環境保全の調査研究 9.広報誌の発行
	82	渥美半島ハイキングクラブの取組	愛知県。 1.自然観察、清掃登山開催事業 2.渥美半島の登山道の維持、整備事業 3.渥美半島の自然の保護、復元、広報事業 4.市民まちづくりの推進、啓発事業 5.市民活動の相談、提言事業
	83	岡崎ゲンジボタル河合保存会の取組	愛知県岡崎市での活動。 1.ゲンジボタルの生息出来る環境整備 2.ゲンジボタルの餌になるカワニナ貝の育成 3.ゲンジボタルの発生調査 4.河合中学校の幼虫養殖の支援
	84	鳥川ホタル保存会の取組	愛知県。 ゲンジボタルの発生する豊かな自然・きれいな河川を維持していく活動を行う。河川美化、川岸の手入れ、ホタルの飼育、山林の保全を考えるための「ホタルの里の山歩きコース」整備を行っている。
	85	ナガノイシモチソウ群落・葦毛湿原保護の会の取組	愛知県。 1.葦毛湿原定例観察会(毎月第1日曜日10時～) 2.湿原内外の清掃活動(毎月第3金曜日9時～) 3.葦毛湿原のパトロール(毎月2～3回) 4.葦毛とナガノイシモチソウ自生地の植生回復作業(年5回)
	86	平原ゲンジボタルの里保存会の取組	愛知県。平原ゲンジボタルの里での活動。 ホタルの里の環境の整備。各種自然保護活動への参加。ホタル祭の開催。
	87	守山リス研究会の取組	愛知県。 リス・ムササビ保全のため、野生下での繁殖飼育、餌樹木の調査・植樹、捕獲による発信機・マイクロチップ挿入による生態・行動圏調査を一般に紹介し、調査活動と環境教育の統合を行政・地域住民と実施している。
	88	揖斐自然環境レンジャーの取組	岐阜県。 1.環境保全活動(河川・登山道のクリーン作戦) 2.緑化推進活動(徳山ダム上流に実なる木の植樹) 3.野生鳥獣保護活動(パトロール等)
	89	白川郷ホタルの会の取組	岐阜県。 1.ホタルの生態に関する事業 2.自然環境に関する事業 3.その他目的を達成するために必要な事業
	90	長良川水系・水を守る会の取組	岐阜県、長良川流域において活動。サツキマスの繁殖行動の調査長良川水系のクリーンアップ活動。(JEANクリーンアップキャンペーン活動の参加)
	91	三枝ほたる保存会の取組	岐阜県。ホタルの幼虫の飼育し放流する。河川の整備。生態系が確立するようお手つたいをする。
	92	瑞浪市シデコブシを守る会の取組	岐阜県。日本シデコブシを守る会と連携して、市内のみならず国内のシデコブシの自生地の保護活動を行っている。ハナノキ・ヒトツバタゴなどの、この地方特有の絶滅危惧種も対象としている。
	93	美濃市自然を愛する会の取組	岐阜県。1.ホタルの水槽飼育と放流、ホタルの発生実験 2.自然河川での発生活動 3.地域への自然保護活動、情報の配布 4.ホタルの一生のスライド作成 5.ホタルの一生とホタルの飼ひ方のビデオ作製中
	94	武儀ササユリ保護育成会の取組	岐阜県。1.ササユリ自生地の保護育成 2.ササユリのは種、鱗片挿し等による増殖 3.ササユリ群生地の造成
	95	赤目の里山を育てる会の取組	三重県赤目の森における活動。1.定期的な里山保全活動 2.里道の整備 3.休耕地の有効活用の試行(カワバタモロコ)の繁殖育成 4.養蜂 5.環境教育(地元小学校の自然体験授業) 6.ワークキャンプの実施 7.通所介護事業所「赤目の森」の運営
	96	伊賀市環境保全市民会議の取組	三重県。周辺地域における自然環境の保全、希少動植物の保護、調査研究、環境関連条例案や施策案の市への提示、市民との先進地視察、環境教室、啓発活動や情報発信等。
	97	伊賀ふるさとギフチョウネットワークの取組	三重県。1.ギフチョウ・里山の観察会 2.ギフチョウの生育状況調査 3.啓発看板の設置など啓発活動 4.棲息地の草刈りや休耕地のレンゲ植栽など棲息地の環境保全
	98	多度自然育成の会の取組	三重県。1.自然を守るセミナーの開催 2.町内美化活動 3.県天然記念物(イヌナシの木)の保全管理 4.不法投棄監視パトロール 5.河川の水質調査 5.メインロードクリーン作戦(草刈、ゴミ、カン拾い等) 6.地域の子供の安心安全を守る活動
	99	東海タナゴ研究会の取組	三重県。東海地方においてのタナゴを中心とした水環境の調査、研究による実態把握と、それに基づく具体的な保全活動、シンポジウムなどの啓蒙活動、ふるさと活動への協力やネットワーク形成。
100	ホタルの会・三木里の取組	三重県。1.ほたるの観察 2.ほたるの棲みよい環境づくり 3.ほたとカワニナの人工飼育 4.ほたるの幼虫放流	
101	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会の取組	滋賀県。1.生物多様性保全・再生のための作業 2.湿原の乾燥化防止のための作業 3.観察コースの保全・補修等 4.観察会の開催 5.訪問者の案内・解説 6.調査研究 7.「山門水源の森」の現況公開	
102	カメハメハ王国の取組	静岡県相良海岸での活動。1.ウミガメの保護調査 2.海浜砂浜調査保全 3.環境教育 4.潜水調査 5.啓蒙活動	



出典	通番	事例	概要
国土交通省関連	103	カワバタモロコを保護する会の取組	静岡県。藪田川の自然とカワバタモロコの保護を訴える各種啓蒙活動やカワバタモロコの生息状況調査・藪田川の草刈りなどを行っている。
	104	サンクチュアリジャパンの取組	静岡県。アカウミガメやコアジサンが産卵する遠州灘海岸や馬込川、天竜川などの野鳥の生息地、ムササビやホタルが飛び交う里山や小川など身近な自然環境保護や調査活動を実施。活動は、体験型環境教育としても実施している。
	105	大日倶楽部の取組	静岡県。昔より地元で生息する山野草の種の保全・育成・放種をしながら、調査マップの作成をしています。又、廃棄農地の開墾をして、農作物の収穫を楽しんでいます。
	106	イカリモンハンミョウを守る会の取組	石川県。年間2～3回の海岸清掃、生息地の整備等を実施、天敵等の排除に努め、餌の確保に努力している。絶滅に瀕するイカリモンハンミョウの調査・保護。
	107	金沢ホテルの会の取組	石川県。県内のホテル生息状況の調査やホテル鑑賞会の企画、運営および協力、ホテル生息地の保護活動等を行う。
	108	森の都愛鳥会の取組	石川県。毎月例会のバードウォッチングを行ない300回を超えている。20～30名の参加者がある。その他河川用水池等の水辺のいきもの調査と保護。ピオトープの保全・創出。ミゾイ・フクロウ・ミサゴ等の生息及び保護活動等です。
	109	うるわしの里の取組	長野県。 1. 田んぼ、川ピオトープのメダカ、ヤゴ、沢蟹、カジカなど生物多様性、毎月の河川清掃 2. 遊休農地再生によるナタネ、ソバの景観作物栽培 3. 荒廃森林を混交林化により「山の幸園、昆虫観察園」などとする。
	110	軽井沢サクラソウ会議の取組	長野県。 1.パンフレット・講演会などの普及啓蒙 2.まちの風土再発見フォーラム 3.子どもたちの自然観察会 4.サクラソウ等絶滅危惧種分布調査 5.自生地の手入れ 6.出版 7.議員などとの懇談会 8.湿地調査
	111	御宝田白鳥の会の取組	長野県。野鳥の生息環境づくりと整備保全を目標とし、人との共生を目指す。鳥集めに餌を多く与える方式でなく、落種や水生植物マコモ・ヒン・藻類等に植栽し自然給餌を逐次推進する。次世代後継者育成にも力をいれています。
	112	しろま自然の会の取組	長野県。ハクバサンショウウオなど地域の自然遺産の調査・研究や保護活動、自然観察会の開催。エコミュージアムの考えに基づく自然保護を含めた総合的な「むらづくり」施策の提言。インタープターの養成や研修会の開催。刊行物の発行などを行っている。
	113	田畑半沢を愛する会の取組	長野県。半沢と呼ばれる用水において活動。 1.川の水質保全や清掃などの環境保全 2.美化活動 3.動植物の観察・調査・保全などの自然生態調査・保全活動 4.水芭蕉・ほたる水路の管理 5.地域の清掃 6.ほたるの養殖 7.ほたる発生時の交通整理・観察会 8.会報(不定期)発行
	114	大蓮華山保勝会の取組	富山県。1.山野草を山へ戻す運動 2.岩魚放流 3.高山帯のハイマツを守る活動 4.青少年自然教室 5.山開き登山会 6.高山蝶を守る活動 7.高山植物保護バトロール活動 8.登山道補修草刈奉仕活動 9.とやま保勝会サミット
	115	立山自然保護ネットワークの取組	富山県。1.アルペンルート沿線ブナ活力度調査 2.立山の外来植物除去作業 3.ライチョウ生息数調査 4.自然観察会、自然保護講座の開催 5.他団体と連携して県内外の環境問題への取組
116	あさひ泰澄塾の取組	福井県。1.天王川美化活動 2.泰澄大師の足跡調査 3.里山の再生 4.ピオトープ作り、運営管理 5.町民を対象にした越知山登山を主催	
117	ナチュラルリスト敦賀・緑と水の会の取組	福井県。身近な自然、環境を知ることから、自ら考えようとのスタンスで、各種行事を企画・実施。近年はごみ問題と共に、市内に残る希少な低湿地「中池見」の保護・保全に力を入れ、ラムサール登録湿地を目指し活動。	
118	福井県鳥獣保護員協議会の取組	福井県。1.鳥獣保護区、休猟区および特定猟具使用禁止区域の管理 2.狩猟の取締および狩猟者の指導 3.鳥獣の保護 4.鳥獣保護思想の普及啓蒙 5.鳥獣に関する諸調査 6.その他必要な事項	
④中部いきもの共生アクションプラン(国土交通省国土計画局、H20)	119	「本戸5Hプロジェクトチーム」による農地・水・環境保全向上対策	岐阜県安八郡輪之内町本戸。同一の市町村内で活動。生物調査、アジサイの植栽、外来種の駆除(ジャンボトナリ)、間伐材利用推進活動を行っている。農地・水・環境保全向上対策のモデル地区に指定されている。平成16年、平成17年の用水路内の魚類、周辺植物、鳥類・昆虫調査を実施し、結果を土地改良施設整備に活用する取り組みを実施している。この調査により、カワバタモロコやダルマガル等希少生物の生息が確認された。
	120	下多度F・W・E管理組合による農地・水・環境保全向上対策	岐阜県海津市。市町村内で活動。津屋川にはハリヨが生息しているが、近年は水質汚染や外来生物の増加により、希少生物を守り育てる関心が薄らいでしまっている。本活動を期に、再び在来生物が多く住める環境整備を図る。生態調査、水路内の魚類観察会や在来魚の引越しいべんトを行って。生態調査では、希少魚類の生息する株池及び隣接する開水路において、大学教授らが地域の児童に正しく調査の指導を行っている。
	121	「かがれがわふる里活動隊」による農地・水・環境保全向上対策	桑名市大字嘉例川集落。同一の市町村内で活動。「美土里ネットかがれがわ」が主催となり、「田んぼの生き物観察会」を開催。また、多気町丹生のメダカ池周辺で「美土里ネット立梅用水」が主催、「多気町勢和地域資源保全・活用協議会」が協議した「夏休みだ!!」親子で楽しむ農村体験を開催した。活動地区内にはヒメタイコウチやホトケドジョウが生息している。理事長は「ヒメタイコウチ、ホトケドジョウを守る会」の会長を兼任しており、「ヒメタイコウチシンポジウム」を共催で実施するなど、保護に力を入れている。田んぼの生き物調査には、学識経験者、市・県も参加している。
	122	モリコロの川を守るプロジェクト	瀬戸市幡山町。複数の市町村で活動。2006年に設立。矢田川沿いの自治会単位で活動していた複数の団体が共同で立ち上げた、河川を核としたネットワーク。矢田川において、流域全体をネットワークで結び、情報、ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報、その結果河川の関心を高めよう目的で活動を開始。河川堤防の清掃、草刈、堤防植林の維持管理を行っている。また、河川に生息する希少生物の保護、地域交流や水環境に関するフォーラム等の実施を行っている。

出典	通番	事例	概要
国土交通省関連	123	小糸台公園、長後第一公園の整備	神奈川県藤沢市。「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」(平成19年度策定)に基づき、都市公園におけるビオトープの整備を進めている。小糸台公園水を利用した池の整備、長後第一公園では蛇籠や剪定枝を利用した生物の住処の整備を行っている。
	124	桜堤公園、仙川緑地周辺の整備	東京都武蔵野市。平成10年に「仙川水辺環境整備基本計画(仙川リメイク)」を策定。UR都市開発機構の団地整備と共に、公園・緑地を一体的に整備し、生態系豊かな空間の創出を行っている。「自然生態系復活ゾーン」の範囲内では、特に多様な植物や水生生物が生息しており、どの公園も水辺と触れ合えるよう整備されている。
	125	水の公園福島潟の整備	新潟県新潟市。平成9年に都市公園として開設された。越冬地となっている周辺の湖沼施設との情報交換や、移動ネットワーク保全につながる活動を行っている。国指定鳥獣保護区となっており、ガン、カモ類をはじめとする、県で確認された種の半数もの野鳥が飛来する。また、天然記念物オオヒクイの日本最大の越冬地であり、オニバス、ミズアオイ、ミクリなどの稀少な水生・湿生植物も数多く生息している。1992年から1998年にかけて、旧粟栄市が「福島潟生態園整備事業」を行い、自然環境の復元を行った。
	126	徳島園地の整備、水辺の再生	茨城県潮来市。霞ヶ浦の脇に造成された公園。公園と湖が水路でつながっており、生き物が行き来できるようにしている。茨城県と潮来市(現潮来市)の整備計画、1993年の環境庁(現環境省)の補助事業を経て「水生植物園」が作られ、1998年に「水郷トンボ公園」として再整備された。ジャランボ(アサガ、ガガブタ、トチカガミなどの浮葉植物の呼び名)などの湿生植物が発達している。1997年に「潮来ジャランボプロジェクト」というボランティア団体が設立。ビオトープに5つの機能を持たせ、本来の水辺環境と、そこに適応した多様な生き物を取り戻す「水辺の再生」を目指している。
	127	鎌倉広町緑地の保全	神奈川県鎌倉市。鎌倉山から江の島方向に連なる丘陵地の都市林。市街化区域内にあり、周囲は開発された住宅地になっている一方で、谷筋、小川、樹木、谷戸などの多様な自然環境が残っている。また古都鎌倉の歴史・文化観光資源も多く点在している。ここでは水生生物のタコノアシをはじめ、カヤネズミ、ホトケドジョウ、ヘイケボタル、ゲンボタル、オオタカなどの多くの貴重種を見ることができ、高度成長期の開発の際に、開発反対運動が起こり、この運動をきっかけに2003年から都市林として整備し、保全・活用されるようになった。2014年にも施設の整備の予定がある。
	128	朝倉川流域のホテル生息地の再生	愛知県豊橋市。1966年に水害が発生し、この改修により、以前は見られていたホテルなどの水生生物が減少していった。その後も悪化の一途をたどる河川と自然環境を再生するため、「NPO法人朝倉川青水フォーラム」が中心となって再生に取り組んでいる。2003年に「ふるさとせせらぎ川づくり」事業により、豊橋市が中心となってビオトープを整備。そこを市とNPOが協議してホテルの生息地として再生・回復を目指している。また、同NPOは「朝倉川流域ビジョン」を策定し、ホテルの回復を通じた再生をすすめるための指針としている。
	129	武豊ビオトープ事業	愛知県武豊町。武豊町北部地域は、農業用ため池や、小河川、水路、水田耕作地などが点在し、自然生態系形成に大きな役割を持っていた。しかし森林伐採や都市化の影響で、その自然環境が失われつつあった。この自然空間の保全・回復、動植物の多様性を確保し、生態系のネットワーク形成をすすめるために、「広域ビオトープ事業」が行われた。この事業は1999年から2005年にかけて、長成池・大日池とそれにつながる農業用水路、寺町田湿地、及びその周辺の残存緑地で行われた。
	130	ハチゴロウの戸島湿地の保全再生	兵庫県豊岡市。汽水域の魚や湿生植物、水生生物も豊富な湿地。2005年に「ハチゴロウ」という野生のコウノトリが頻りにやってくるようになってからは、ミズアオイが繁殖し、カモ類やカメも飛来するようになった。豊岡市は2007年に「ハチゴロウ戸島湿地整備基本構想・計画」を策定し、この場所を生物多様性の核となる「ハチゴロウの戸島湿地」として再生・整備した。コウノトリの餌場である水田を豊岡市が買い取って整備し、地元住民の協力を得ながら湿地として保全していくことを目的としている。
	131	鴻巣山特別緑地保全地区での里山保全	福岡県福岡市。スタジヤコナラなどの大木、マメハシイの株立ち林などの森が残されている。福岡市は「やってみよう! エコアツ活動」と題し、市民・NPO・事業者が主体的・継続的に保全活動が行えるような仕組みづくりを目的とした緑地保全活動を行っている。生物多様性の観点からの維持管理作業を行っており、任意団体「鴻巣山クラブ」と市が連携を行ったりもした。2001年には市民が中心となって「鴻巣山で森作りを楽しむ会(仮称)」も結成され、2002年には「こうのす里山くらぶ」も発足した。
	132	潮見公園のビオトープ整備	北海道室蘭市。公園内において、平成14年からビオトープの整備を実施しており、「NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭」参加のもと失われた室蘭の湿原の復元を通して郷土の緑化を進めている。
	133	新浜緑地での希少種保護	香川県高松市。住宅地に囲まれた緑地に、当時香川県天然記念物のアケシソウが群生しており、その保護のために都市公園とし、昭和61年に生息環境の整備を行った。
	134	帯広の森構想	北海道帯広市。十勝川と礼内川を含めた「緑のベルト」で市街地を囲おうという「帯広の森」構想に基づき、帯広の森(広域公園)を整備した。園内では、生物的連続性を立地条件にあった多様な森を目指し、市民参加のもと植樹、間伐や下枝払い等を実施している。
	135	小庄用水堰(魚を育む流れづくり推進対策事業)	平成5年度実施計画策定 12年度実施。東京都摩川水系、「魚を育む流れづくり推進対策事業」を活用、既存の農業用水の適切な機能を維持しつつ、より機能性の高い魚道を整備を目指す。主体:東京都産業労働局農林水産部農業振興課。
	136	新莊川における地域用水環境整備事業	平成18年度、高知県須崎市新莊川、68種類の魚類が確認されており、四万十川・鏡川について多い豊かな自然が残っている河川。5か所の農業用取水堰に魚道整備を行う。魚道整備により魚類の逆上・降下の障害と生態系への影響を緩和する目的。主体:高知県農業振興部。
137	集落で取り組む冬期かん水水田(宮城県田尻町、蕪栗沼)	平成10年度、宮城県田尻町蕪栗沼、渡り鳥が飛来する蕪栗沼だからこその出来る環境共生型農業集落を目指し、「蕪栗沼地区農業・農村研究会」を設置し冬期かん水が生態系に与える影響評価や水田の浄水(降下)の実証、環境と共存できる農業生産技術の確立に取り組む。	
138	尾道糸崎港干潟再生プロジェクト	1984~1996年、尾道糸崎湾、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、東西18kmの細長い湾域、並びに前面に向島等の諸島が浮かぶ静穏な水域であり、河川からの砂の供給は砂浜から沖合いに向け急深となっている。航路浚渫土砂を活用した干潟等の再生プロジェクトに取組、沖合い約200mの位置に港堤を築き、その内側に土砂を投入して覆砂を行い、合わせて干潟60ha、アマモ8haを再生した。主体:国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所	
139	阿寒国立公園阿寒湖畔集団施設地区における湖と緑のネットワーク	北海道 釧路市 阿寒国立公園 阿寒湖畔地区。緑地の連続化、緑のボリュームアップを図り、緑地空間としての機能の充実・水の循環、自然エネルギーの利用など環境負荷の少ない空間設備・湖の船上及び湖畔からの景観の確保という観点から、緑地の確保、自然河川への再生、花、水に関する広場の創出などを計画し、分断化された生態系をネットワーク化する。主体:環境省自然環境局国立公園課	
140	灰塚ダムの人工湿地	平成19年、広島県三次市、広島県の北東部に位置する灰塚湖地域は、カタクリやセツブンソウなどの山野草の宝庫であり、動物では、近年個体数が激減しているダルマガエルやツブボウソウなども含め、地元住民の方による保護・生育活動も盛んに行われている。朝鮮半島からの渡り鳥の中継地点として、灰塚ダムに人工湿地を作っている。主体:国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所	

出典	通番	事例	概要	
国土交通省関連	141	物部川再生への取り組み	高知県 香美市。行政、物部川流域ふるさと交流推進協議会、アクア・リブル・ネットワーク、21世紀物部川森と水の会、地元漁協等が共通の目標「豊かな川魚生態系が戻る清流の再生、ユア天然そ上200万匹をめざす」という共通の目標を掲げて取り組みを進める。	
	142	角間里山自然学校の取組	金沢大学角間キャンパス内において、平成11年から市民のための里山を活用した生涯学習プロジェクト、里山の階段工事、パンフレットの作成を実施。現在のプログラムは水田復活、竹林整備、遊歩道整備、里山の食を楽しむこと、動植物生息調査、自然観察会等。	
	143	能登半島・里山里海自然学校の取組	能登半島の珠洲市を中心とした地域において、平成16年から能登の生物多様性保全と地域の活性化、里地里山の復活を目指す運動の展開を開始した。里山里海自然学校は指導ではなく、金沢大学が委嘱している里山駐在研究員や自治体、地域住民、ボランティア等のネットワークの総称。奥能登地域の里地里海の健康度を示すための「ポテンシャルマップ」の作成、奥能登地域をフィールドとした自然観察や体験学習、保全活動を展開している。	
	⑦既存ストック等の効率的管理による環境の保全・再生・創出方策検討調査報告書(国土交通省国土計画局,H18)	144	豊岡市赤石地区における地域環境保全活動	豊岡盆地北部に位置し、本地区の近隣には「兵庫県率コウノトリの郷公園」があり、コウノトリの野生復帰を目的とした保護・増殖が進められている。平成13年のほ場整備事業をきっかけに魚道の設置を開始。また、それに伴い平成13年度から「生態系保全型水田整備推進事業」を、平成15年度から「地域環境保全創造活動推進事業」に取り組んでいる。地元の環境保全意識も高まっており、有識者を交えた検討会議の開催、地元農家によるピトーブの設置、冬期湛水田を実施。
		145	豊岡市三江地区における地域環境保全活動	豊岡盆地北東部に位置し、地区内に「兵庫県立コウノトリの郷公園」が設置され、コウノトリの野生復帰を目的とした保護・増殖が進められている。公園の設立(平成14年)をきっかけに、コウノトリの餌場となる水田作り、地域の生物調査の実施、転作田を利用したピトーブ整備等に取り組んでいる。
		146	たつの市笹野地区における地域環境保全活動	兵庫県揖保郡たつの市(旧新宮町)の東部に位置する。平成14年のほ場整備をきっかけに「ささ水辺の生きものを守る会」を発足。地元施工でピトーブを設置するなど、行政に頼らない活動を展開している。田んぼの学校の実施や地元農産物の販売等も行っている。
		147	円山川における流域管理	兵庫県。昭和30年までコウノトリの生息地であり、現在放鳥事業が行われている。本事業では、田圃の自然再生や里山林の整備、農産物安心ブランド化の推進等の環境整備事業、コウノトリの野生馴化、拠点整備等の放鳥事業、地場産品販売促進、環境教育等多岐にわたり、県・市・団体が主体となって推進している。平成17年に国土交通省と兵庫県が「円山川水系自然再生計画」を策定し、エコジカル・ネットワークの保全・再生・創出を目標に掲げ、整備メニューを直轄区間と県管理区間の主なブロックごとに具体的に設定している。
環境省関連	148	「森は海の恋人」運動	宮城県及び岩手県、大川流域。気仙沼湾の水質汚濁と漁業被害、ダム建設による更なる悪化の可能性を危惧し、漁業者による牡蠣の森を募る会を設立し、大川の上流にあたる岩手県一関市至根町への植林・育林活動を展開。経験的に知られていた「森—川—海の関係性」について、科学的知見に基づく裏付け・定量的評価を実施し、その結果を基に植樹活動を実施。その他、各種の自然環境調査に基づく動植物の保全、自然エネルギーの活用や農的暮らしの実践等によって総合的に自然環境の保全に取り組む。	
	⑨生物多様性保全活動マップ	149	金城学院大学、大学里山保全・キャンパス整備	・大学キャンパス内里山(名古屋守山区大森)において、学生も参加した里山及びため池の保全と再生復元活動を展開。2009年度から本格実施。 ・東側に隣接する八竜湿地につながるエリアでの散策道整備も行う。 ・除伐広葉樹や竹を利用した炭焼き、広葉樹の萌芽更新の観察等を行う。
		150	水源の森と八竜湿地を守る会	八竜湿地(名古屋市 八竜湿地・八竜市民緑地)において、湿地の植生維持・回復のための維持管理、外来種駆除を実施。
		151	猿投里山会、猿投里山づくり事業	猿投山において、ギフチョウの自然繁殖を促すための雑木林整備、休耕田等を利用した里山の環境整備、定例活動を中心とした、里山づくりを楽しむ活動を実施。
		152	海上の森の会、自然環境調査グループ	海上の森(瀬戸市)において、自然環境調査、人工林の手入れ、農地の維持管理等を実施。
		153	なごや東山の森づくりの会	東山の森の保全活動、雑木林・竹林の手入れ、湿地の再生、森の植生・生物・水質・地質などの観察と調査活動を実施。
	⑩企業いきものにぎわい活動コンテンツ	172	北杜市アニマルパスウェイ・プロジェクト	平成16年に開始した、ヤマネ(準絶滅危惧種、天然記念物)、ニホンリス、ヒメズミ等の樹上性小動物の採餌・繁殖障害による種の遺伝子劣化等を補正するための、道路上に架設する「アニマルパスウェイ」の実証的研究開発プロジェクト。山梨県北杜市清里の森を中心として、財団法人キープ協会やまねミュージアムが主宰する「ニホンヤマネ保護研究グループ」と4社のコラボレーションで実施。北杜市と連携して、公道上に2基の「アニマルパスウェイ」を架設し、モニタリングを実施、3カ月で約800数十回の利用を確認しており、その結果をもとに国内外への設置普及の活動を展開している。実施主体:大成建設株式会社/有限会社ソニウィット/清水建設株式会社/東日本電信電話株式会社
173		北海道ふゆみずたんぼプロジェクト	平成18年より開始した、冬期湛水と農業や化学肥料を使用しない農法の確立と普及により、生物多様性の保全に貢献すると同時に、安全で高付加価値のお米の生産、さらには環境教育や地域づくりなど多くの機能をもったプロジェクト。農作業や生きもの調査などを体験プログラムとして実施。従業員や市民の環境教育に役立てながらデータを蓄積し、活動1年目からヒメゲンゴロウ、ユスリカの幼虫、アメンボなどの水生生物、さらに水田内ではニホンアマガエルのオタマジャクシの繁殖も認められるようになった。3年の活動の間に水田とその周辺には20種類のトンボを確認でき、確認できたその他の生きもの種数も年を追って増えた。また農家が持続的に取り組み、かつ生物多様性の保全に貢献する農法としての確立を目指すよう、栽培技術や生きもの調査の指導にはNPOの指導者を招聘。活動に興味を持った農家や研究・教育機関、行政、企業、一般市民等に幅広い参加を募り、実際に農家が耕作する水田での実証にも取り組んだ。実施主体:株式会社アレフ	
174		「岐阜造園・水保全の森みたく」プロジェクト	平成21年より開始した、岐阜県における、県民協働による森林づくりプロジェクトとして、森林整備作業の協定を締結。周辺に田圃や集落、生活用水の水源地がある、地域住民の生活に深く関わる里山林14.66haでの活動。地域住民の水源を守るための水保全を重視した森林整備、キノコ類の林産物の生産、森林環境教育やボランティア活動の場所づくりなど、環境型の生きた里山づくりを活動コンセプトとしている。活動に関しては社内に「森づくりチャレンジチーム」を設立し社員の自発的な参加を仰ぐなど、活動に費やす労力は主として社員がボランティアで行っている。ピトーブや健全な里山づくりを目指すと同時に、地域の人々と協働しながら森林散策や自然観察などができる学習の場として整備を進めている。実施主体:株式会社岐阜造園	
175	重富干潟にぎわいプロジェクト	鹿児島湾(通称:錦江湾)の奥、最大の干潟である重富海水浴場において地元NPO法人との協働により環境保全活動や観察会等に取り組んでいる。数年前から地元NPO法人による環境保全活動が始まり、それに企業の社会貢献活動の一環として、また社員の環境意識啓発のために協働することで活動を開始した。また、従業員の毎月の給与と賞与から100円未満の端数により「ココチ基金」を設立し、本プロジェクトの協働者である環境教育NPO法人「くすの木自然館」に助成している。実施主体:株式会社芙蓉商事		



	出典	通番	事例	概要	
環境省関連	⑭企業いきものにぎわい活動コンテスト	176	高尾「100年の森」プロジェクト	東京都八王子市裏高尾町の山林を約50ha取得し、森林再生・保全活動に取り組んでいる。平成18年から社会貢献と健全な生態系の確保と、里山の持つあらゆる可能性を追求したプロジェクトを立ち上げ、各種団体や教育機関、地域住民など様々なセクターとの協働で活動を展開している。新炭林や人工林に覆われた里山として利用、活用されていた時代を経て、40年間放置されて荒廃した状況だったが、現在は約4haの面積をNPO等の各種団体、地域住民、ボランティアとの除伐、間伐、下草刈りを実施。同時に遊歩道の整備も進んでいて、自然体験学習や研究の場としての活用も行われている。実施主体：佐川急便株式会社	
		177	ムサシトミヨ保護事業	埼玉県。ムサシトミヨの生息環境を保全するため、埼玉県熊谷市元荒川源流部の水量確保のための地下水の放流や生活排水の流入対策、河川の浚渫や草刈りなどを実施する。実施主体：ムサシトミヨ保全推進協議会	
		178	東三河生物多様性保全事業	愛知県東三河地域の生物多様性の保全・再生を図るため、[1]豊川流域における湿地、河畔林、里山保全のための森林整備等を実施するとともに、[2]渥美半島遠州灘沿岸のアカウミガメの産卵環境の保全のための孵化場を整備する。実施主体：愛知県	
		179	いしかわの里山の生物多様性保全再生事業	石川県内の里山の保全・再生のため、[1]ギフチョウやキンランの生息・生育地となっている金沢市の丘陵地において森林や竹林の整備を行うとともに、[2]シャープゲンゴロウモドキなどが生息する能登地区のため池群において、ブラックバスなど外来種の防除やピオートの整備などを実施する。実施主体：石川県	
		180	かが里山イヌワシの森再生事業	石川県加賀市において、イヌワシの生息状況調査等を実施するとともに、イヌワシの生息環境の整備のため、間伐等の森林整備を実施する。実施主体：石川県加賀市	
		181	中池見における湿生希少野生動植物の保全管理ならびに賢明な利活用推進事業	福井県敦賀市の中池見湿地において、外来植物の除去や木道・水路の補修などにより、デンジソウやミズアオイなどが生育する湿原環境の保全を図るとともに、生物相のモニタリングや里地里山を活用した環境学習の支援などを実施する。実施主体：福井県敦賀市	
		182	東近江市ニホンジカ保護管理事業	滋賀県東近江市において、ニホンジカの行動圏や自然植生・農林業への被害状況調査を実施するとともに、それらの結果に基づき、個体数調整や緩衝地帯としての里山の整備などを実施する。実施主体：滋賀県東近江市	
		183	ニッポンバラタナゴの保護と環境保全	ニッポンバラタナゴが生息する大阪府八尾市高安地域において、[1]ため池の浚渫や改修工事、アメリカザリガニなどの防除、[2]流域の高安山の森林整備や生きものマップの作成、[3]普及啓発のための環境フェスティバルの開催などを実施する。実施主体：環境アニメイティブやお（大阪府）	
		184	ため池生物多様性保全計画	兵庫県東播磨地域のため池群において、健全なため池生態系の回復のため、池干しによるブラックバスなどの防除を行うとともに、ため池の生物調査や普及啓発を実施する。実施主体：いなみ野ため池ミュージアム運営協議会（兵庫県）	
	⑮生物多様性保全推進支援事業（環境省）		185	トキの餌場環境再生対策事業	佐渡のトキの生息環境を確保するため、冬期湛水や江の設置等による餌場環境の実証試験を行うほか、フォーラム、研修会、ワークショップ、生きもの調査の研修、生きもの調査インストラクター養成等を実施する。実施主体：新潟県佐渡市
			186	今津干潟カブトガニ産卵場整備事業	福岡市の今津干潟において、干潟生物やカブトガニの産卵状況調査を実施するとともに、覆砂によるカブトガニの産卵場整備等を実施する。実施主体：福岡県福岡市
			187	ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」生物多様性保全事業	宮城県大崎市のラムサール条約湿地である蕪栗沼・周辺水田において、湿地の陸地化防止と渡り鳥の増加による水質悪化の改善などを目的として、灌木の伐採や浚渫などを実施する。実施主体：宮城県大崎市
			188	夷隅川流域における生物多様性保全再生事業	千葉県いすみ市の夷隅川流域の生物多様性の保全・再生を図るため、[1]耕作放棄された谷津田の水路や里山の森林整備を行うとともに、[2]アカウミガメの産卵場所の保全のための海岸清掃や海岸植生の保全活動などを実施する。実施主体：千葉県
			189	千曲市生物多様性保全事業	長野県千曲市において、市民が主体となって希少動植物を調査し、千曲市版レッドデータブックを作成するとともに、デンジソウ、オオヤマカタバミ、ペニバナヤマシヤクヤクなどの希少種が生育する棚田や里山において、外来植物の除去や間伐、下草刈りなどを行う。実施主体：長野県千曲市
			190	名古屋ため池生き物いきいき計画事業	愛知県名古屋市内のため池の生物多様性の保全・再生を目的として、主要なため池において、動植物や水質などの調査を実施するとともに、池干しや浚渫、ブラックバスなどの外来種の防除などを実施する。実施主体：愛知県名古屋
			191	たかしま生物多様性保全推進支援事業	滋賀県高島市において、ニホンジカの行動圏や自然植生・農林業への被害状況調査を実施するとともに、それらの結果に基づき、個体数調整や人と野生動物の棲み分けのための防護柵の設置などを行う。実施主体：滋賀県高島市
			192	屋久島生物多様性保全再生事業	鹿児島県屋久島町の屋久島（世界自然遺産）において、ヤクタンゴヨウやヤクマリンドウ、ヤクナムスユキソウなどの希少種の自生地調査を実施するとともに、ヤクシカの防護柵を設置することなどにより、本来の森林植生の復元を図る。実施主体：屋久島・ヤクタンゴヨウ調査隊（鹿児島県）
			193	南大東島生物多様性保全再生事業	南大東島（沖縄県南大東村）において、ダイトウオオコウモリなどの希少動植物の生息・生育調査を実施するとともに、郷土樹種の植栽や競合する外来植生の除去などにより、ダイトウオオコウモリが生息できる森づくりを行う。実施主体：沖縄県南大東村
	農林水産省関連	⑩集落ルネサンス（農地・水・環境保全向上対策事業）（H19・H20）	154	「安養寺地区緑を守る会」による農地・水・環境保全向上対策	福井県越前市。山間の水田地帯。「安養寺地区緑を守る会」は自治会、農家組合、農業活性化組合、地元8団体、子ども会、社年会、土地改良区からなっている。地区内に自生している「さぎ草」やハッチョウトンボ等の希少動植物の調査や監視、ピオートづくり、さぎ草植栽などの幅広い活動を行っている。また、県外の小学生が参加して豊かな自然環境を体験する「エコキャン」(福井新聞社・福井テレビ・福井放送後援)と協力連携して、希少動物の監視観察、ピオートづくり、保全活動に付いての学習会の開催も行っている。
		155	「逆面エコ・アグリ」による農地・水・環境保全向上対策	栃木県宇都宮市。里山と水田が広がる宇都宮市近郊の農村地帯。「生き物と農村の共存」による地域活性化を目指して活動組織を発足、農業者、自治会、子ども会、老人会、田原小学校、宇都宮大学、NPO法人グラウンドワーク西鬼怒等から構成されている。主に、生き物調査や野の花再生活動、キツネノミソリなどの保護活動に取り組んでいる。さらに、地域内山林に生息するフクロウを頂点とした生態系保全のため、NPO法人が取り組んでいる「フクロウ営巣ネットワークプロジェクト」と連携、巣箱の設置や巣立ちまでの監視なども行っている。また「フクロウの育む里づくり」の活動を核として地域の活性化を図り、環境に配慮して生産された米を「フクロウ米」としてPRしている。	
地方自治体	⑪自治体の作成する生物多様性地域戦略	156	生物多様性保全県戦略（埼玉県）	平成20年策定。	
		157	生物多様性ちば県戦略	・平成20年策定。地球温暖化と生物多様性を一体的に捉える視点。 ・生物多様性センターの設置。	

出典		通番	事例	概要
地方自治体	①自治体の作成する生物多様性地域戦略	158	ふるさと滋賀の野生動植物の共生に関する基本計画 滋賀県ビオトープネットワーク長期構想	・基本計画(H19)、ビオトープ長期構想(H21)策定。 ・基本計画とネットワーク長期構想が一体となって地域戦略の役割を担うと位置づけ。 ・ビオトープの保全・再生・ネットワーク化を目標。 ・「重点拠点区域」と「生態回廊」を選定し、地図化。
		159	長崎県生物多様性県戦略	・平成21年策定。 ・多様な主体の役割を明記。 ・市町、NPO等への支援事業を創設。
		160	生物多様性ひょうご戦略	・平成21年策定。 ・森、川、里地等、生態系ごとの状況を詳細に記述。 ・コウブトりの野生復帰等の実績とりまとめ。
		161	あいち自然環境保全戦略	平成21年3月策定。県土の将来像として「県土レベルの生態系ネットワーク形成のイメージ」を示している。
		162	生物多様性ながれやま戦略	・平成22年策定。 ・生態系ネットワークの構築を取り組みの基本的な方向として設定。 ・重点地区、拠点の抽出。
		163	生物多様性ひだたかやま戦略	・平成22年策定。
		164	生物多様性2050 なごや戦略	平成22年3月策定。4つの戦略の1つにおける方針として、「土・水・緑のネットワークづくり」を挙げ、特に「周辺地域とつながるネットワークの再生」について言及。
	②生態系ネットワーク形成に向けた事業	165	あいち森と緑づくり事業	愛知県が平成21年度から10年間実施予定の事業。5年後に継続の有無も含めて再評価の予定。個人や法人からの税収(「あいち森と緑づくり税」)を愛知県が基金として積み立て、「あいち森と緑づくり事業」を行う。
		166	生態系ネットワーク形成モデル事業	愛知県が平成22年度から3年間、県内3地域においてモデル事業を実施し、その成果を検証してガイドラインを作成し、県内全域に取組を広げていくことを目的とするものである。モデル事業地は、名古屋東部丘陵のほか、知多半島、西三河。
		167	ふれあい里山再生事業	耕作されていない谷津田再生を、県民参加でモデル的に行い、再生前後に生物多様性調査を実施する。
		168	海上の森の保全と活用	・海上の森において参加型体験学習事業として各種自然観察会や保全活動を実施。 ・里山保全に関する指導者の育成 ・海上の森における里山保全活動の拠点としての「あいち海上の森センター」の運営。
		169	企業による森林整備	・海上の森との企業連携プロジェクトとして5企業が参加しており、うち4企業が海上の森内、「企業連携の森」において人工林・里山保全活動を実施。

平成 22 年度 持続的なエコロジカル・ネットワーク形成に関する調査

実施担当部局：国土交通省 国土計画局 総合計画課

受託機関：株式会社 プレック研究所